

尾瀬 恋ノ岐川

煤孫

【日時】 2008年10月11日(土)～13日(月)

【メンバー】 L浅井、煤孫

10/11(土)

バスと遊覧船を乗り継いで行く予定だったが、私が寝坊してしまい、1本遅い新幹線(1時間後)になった。仕方なく浦佐駅からタクシーを使う。1万6千円の出費だった。タクシーを使ったので、恋ノ岐橋まで車で行けた。結果的に入溪時間は予定より早くなった。

11:10に入溪する。入溪してからすぐゴルジュとなった。水に浸かって行けばラクそうだったが、寒いのでなるべくへつる。2人パーティなので荷が重い。荷が重くてへつりが辛かった。

その後は穏やかな溪相が続くが、小滝が多くかかっている飽きなかった。全体的に恋ノ岐川は穏やかな溪相だが、小滝が程良い間隔でかかり、飽きることがない。多くの人から愛されている理由だろう。

2段10mの手前で引き返してきたハイカーに会った。今回、沢で会ったのはこのハイカーだけだった。2段10mは簡単に登れた。先ほどのハイカーは沢装備で来なかったのも、この滝が登れなくて引き返したようだ。

清水沢を分けるちょっと手前に、絶好の幕場を見つけた。計画では三角沢出合まで行く予定だったが、天気も悪かったので、ここで泊まることにする。



10/12(日)

8時に幕場を出発する。雨も上がり、雲も薄かった。天候は回復する予報だったので、期待して出発する。

穏やかな溪相の中に小滝が程よい間隔で懸かり、昨日同様楽しい遡行だった。だんだん天候も回復し、陽がさすようになった。三角沢を分けると目に見えて水が減り、水に浸かっても膝上までになった。

ここからの遡行が幸せだった。水深が浅くなったので歩行が楽になった。高度も上がってきて、兩岸の紅葉が美しくなった。また、水も透き通って美しかった。下流では魚影をみなかったが、上流では多くの岩魚を見かけた。沢自体も美しいが、紅葉の恋ノ岐川はさらに美しい。一步一步が幸せだった。

14:00にオボコ沢を分けた。オボコ沢を分けるとさらに水が減った。水に浸かっても膝下までとなり、快適に歩けるようになった。ここから先は川幅が狭くなり、小滝が連続した。特筆するような滝はないが、楽しんで登れる滝が多かった。

途中でブナハリの群生を見つけた。今回の沢旅でキノコの収穫はこれだけだった。今夜と明日の朝分だけ収穫する。

15:30に理想的な幕場を見つけた。前日に泊まった人がいたのか、薪はちょっと上流に行かないとなかったが、焚火を楽しむことができた。





10/13(月) 体育の日

7:10に幕場を出発する。この日も天気良かった。だんだん源頭の雰囲気になってきたが、所々に深い釜があった。寒いので濡れたくなかったので、深い釜は巻いた。恋ノ岐川は全体的にどこでも明瞭な巻き道があったが、大きく巻きすぎる傾向があった。いつも適当なところでトラバースして沢に降りた。

上流部にもそれなりに手ごわい小滝が多く懸かり、思ったよりも時間がかかってしまった。

40mナメ滝は、左側から木をつかみながら登った。斜度が緩かったのでザイルは出さなかったが、高度感があってちょっと怖かった。40mナメ滝を過ぎると本当の源頭の様相になった。源頭部にも幕場になりそうな場所がいくつかあったが、焚火はできなさそうだった。

適当なところから左に上がると藪こぎが少ないとガイドブックにあったので、1903mのピークに突き上げる沢を詰めた。約30分で登山道に出た。

バスの時間まで余裕がなかったので、平ヶ岳の山頂は諦めて下山した。

1日目だけ天気が悪かったが、2日目、3日目と天気が良くて美しい渓谷を堪能できた。3連休に有名沢に行ったのだが、ほとんど人と会わなかった。1日目の天気が悪かったので、入渓した他のパーティは2日目から1泊2日に入ったのだろうか。

2日とも、理想的な幕場に泊まれた。有名沢だけあって、よく整地された幕場があった。我々だけで独占して焚火を楽しんだ。これほどの有名沢、これほど美しい沢で静かな沢旅を楽しめたのは僥倖だった。

結果的に、一度もザイルもお助け紐も使わなかった。ただ、それなりに考えないと登れない小滝が多く、飽きることはなかった。

「ザイルが要らない沢」というイメージと、「恋ノ岐川」の名称から、デート沢とされている人が多いようだ。しかし、簡単には登れない小滝が多く、また行程も長いのでそれなりに体力も必要だ。デート沢ではないと思う。

有名沢だからといって敬遠しないで、是非一度は行って欲しい名渓だ。

【グレード】恋ノ岐川 3級下

【行程】

10/10 入渓点(11:10)～幕場(13:45)

10/11 幕場(8:00)～三角沢出合(9:55)～オボコ沢出合(14:00)～幕場(15:30)

10/12 幕場(7:10)～登山道(11:30)～平ヶ岳登山口バス停(15:30)

【地図】平ヶ岳、会津駒ヶ岳